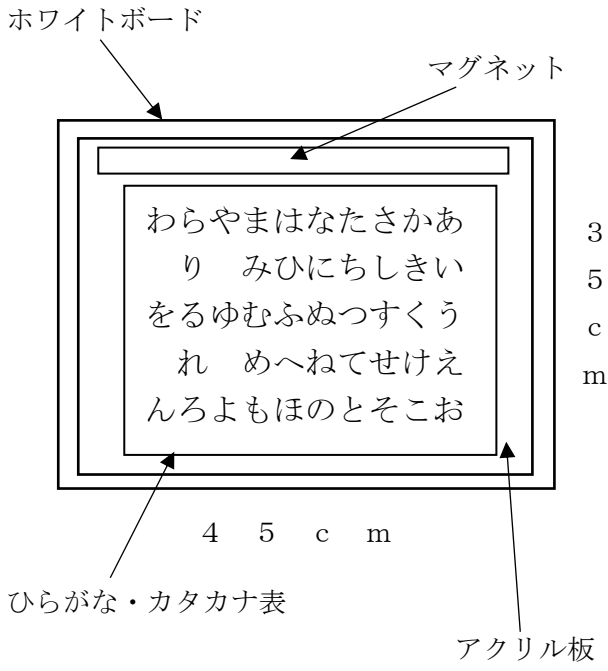


自作教具の活用事例

【作品名】 文字なぞれるくん	【学校名】 日立市立水木小学校
【活用できる領域・教科等】 国語(文字)	【制作者名】 小野 正貴
【制作の意図】 ひらがなやカタカナ、漢字を覚えるのが苦手な児童に対して、ノート以外の方法で何回も練習できる支援方法を考えた。 文字をなぞることで字形が整わない児童の支援にも繋がる。	【使用方法】 ホワイトボードの上にひらがな表、カタカナ表などを置く。さらにその上から透明なアクリル板を置き、ホワイトボード用のペンでなぞる。終わった後は、消して繰り返し練習をする。
【制作上の工夫】 大きめのホワイトボードを用意することで書きやすくした。 透明なアクリル板を使うことで自分の書いている文字を見やすくした。 黒だけでなく、色が変わえられることで覚えやすくした。 ひらがなの書き順の記された一覧表を活用することで、書き順や形を意識して何度も練習することができる。	【見取り図】  ホワイトボード マグネット 35 cm 45 cm ひらがな・カタカナ表 アクリル板
【写真】 	【使用効果と応用発展】 繰り返し書いたり、消したりすることでひらがなやカタカナを覚えることができる。 字形の整わない児童にも効果がある。 漢字表を使うことで漢字の苦手な児童に対しても効果がある。
【材料・材質・部品等】 ・ホワイトボード ・ひらがな表、カタカナ表 ・アクリル板 ・マグネット ・ホワイトボード用のペン	